

# 入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

## 記

### 1. 競争入札に付する事項

- (1) 入札件名：「MUF/SRD解析システムの整備」
- (2) 仕様：入札説明書による。
- (3) 数量：一式
- (4) 納期：2026年 2月27日
- (5) 納入場所：茨城県那珂郡東海村白方字白根2-53  
公益財団法人核物質管理センター 東海保障措置センター内指定場所

### 2. 必要書類等の提出場所等

- (1) 契約事項を示す場所及び入札説明書を交付する場所  
郵便番号：110-0015  
所在地：東京都台東区東上野一丁目28番9号 キクヤビル3階  
機関名：公益財団法人核物質管理センター  
担当部署：総務部 契約課  
フリガナ：ヨシダ フミオ  
担当者名：吉田 文雄  
電話番号：03-5816-7765  
FAX：03-3834-5265  
Mail：keiyaku-info@jnmcc.or.jp  
交付方法：センターホームページ内「調達情報」よりダウンロードすること。
- (2) 入札説明書のダウンロード可能期間  
2025年 2月26日（水）～ 2025年 3月17日（月） 午後5時まで
- (3) 質問書提出期限（本入札に参加するには、期限までに質問書を提出すること）  
2025年 3月19日（水） 午後4時まで  
公益財団法人核物質管理センター 東京本部  
総務部 契約課 必着（FAX・電子メール可）  
なお、質疑がない場合でも、その旨を記載し提出すること。
- (4) 入札仕様書等提出期限  
2025年 3月27日（木） 午後4時まで  
公益財団法人核物質管理センター 東京本部 総務部 契約課 必着（電子メール可）
- (5) 入札及び開札の日時及び場所  
2025年 4月11日（金） 午前10時00分  
公益財団法人核物質管理センター 東京本部 3F会議室  
なお、入札書を郵送する場合、書留郵便若しくは配達記録が残るように、東京本部  
総務部 契約課まで 2025年 4月10日（木） 午後5時必着とする。

### 3. 入札方法

落札決定にあたっては、入札書に記載された金額（非課税分を除く）に当該金額の10パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てる。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税業者か免税業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

### 4. 競争入札に参加する者に必要な資格

(1) 次の①～⑤に該当する者は入札に参加することができない。

①成年被後見人

②未成年者、被保佐人及び被補助人（契約締結のための必要な同意を得ている場合は除く。）

③破産者で復権を得ない者

④競争に参加することを妨げ、又は契約の締結もしくは履行を妨げ、公序良俗に違反した者であって、その事実があった後2年を経過しない者（代理人、支配人、その他の使用人として使用する者についても、同様とする。）

⑤暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団又は同法第2条第6号に規定する暴力団員もしくはこれらと関係する者

(2) 2025年度 国・地方公共団体等における競争参加資格（東北、関東・甲信越）の「役務の提供等」の資格を有すると認められた者

### 5. 入札保証金

免除する。

### 6. 入札の無効

入札参加資格のない者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

### 7. 契約書作成の要否

契約締結にあつては、契約書を作成するものとする。

### 8. 落札者の決定方法

予定価格の制限に達した入札者のうち、最低の価格をもって入札した者を落札者とする。

### 9. その他

詳細については、入札説明書による。

2025年 2月26日

公益財団法人核物質管理センター  
総務部長 猪 狩 和

# 入札説明書

一般競争入札の詳細は下記のとおりとする。

## 記

### 1. 競争入札に付する事項

- (1) 入札件名：「MUF/SRD解析システムの整備」
- (2) 仕様：仕様書による。
- (3) 数量：一式
- (4) 納期：2026年 2月27日
- (5) 納入場所：茨城県那珂郡東海村白方字白根2-53  
公益財団法人核物質管理センター 東海保障措置センター内指定場所

### 2. 必要書類等の提出場所等

- (1) 契約事項を示す場所及び提出場所等  
郵便番号：110-0015  
所在地：東京都台東区東上野一丁目28番9号 キクヤビル3階  
機関名：公益財団法人核物質管理センター  
担当部署：総務部 契約課  
フリガナ：ヨシダ フミオ  
担当者名：吉田 文雄  
電話番号：03-5816-7765  
FAX：03-3834-5265  
Mail：keiyaku-info@jnmcc.or.jp
- (2) 質問書提出期限（本入札に参加するには、期限までに質問書を提出すること）  
2025年 3月19日（水） 午後4時まで  
公益財団法人核物質管理センター 東京本部  
総務部 契約課 必着（FAX・電子メール可）  
なお、質疑がない場合でも、その旨を記載し提出すること。
- (3) 入札仕様書等提出期限（11.その他（1）②に示す書類）  
2025年 3月27日（木） 午後4時まで  
公益財団法人核物質管理センター 東京本部 総務部 契約課 必着（電子メール可）
- (4) 入札及び開札の日時及び場所  
2025年 4月11日（金） 午前10時00分  
公益財団法人核物質管理センター 東京本部 3F会議室  
なお、入札書を郵送する場合、書留郵便若しくは配達記録が残るように、東京本部  
総務部 契約課まで 2025年 4月10日（木） 午後5時必着とする。

### 3. 入札方法

- (1) 請負金額一式とする。
- (2) 落札決定にあたっては、入札書に記載された金額（非課税分を除く）に当該金額の10パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てる。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税業者か免税業者であるかを問わず、見積もった契約金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

#### 4. 競争入札に参加する者に必要な資格

(1) 次の①～⑤に該当する者は入札に参加することができない。

①成年被後見人

②未成年者、被保佐人及び被補助人（契約締結のための必要な同意を得ている場合は除く。）

③破産者で復権を得ない者

④競争に参加することを妨げ、又は契約の締結もしくは履行を妨げ、公序良俗に違反した者であって、その事実があった後2年を経過しない者（代理人、支配人、その他のとして使用する者についても、同様とする。）

⑤暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団又は同法第2条第6号に規定する暴力団員もしくはこれらと関係する者

(2) 2025年度 国・地方公共団体等における競争参加資格（東北、関東・甲信越）の「役務の提供等」の資格を有すると認められた者

#### 5. 入札保証金

免除する。

#### 6. 技術審査

提出された入札仕様書等は契約担当者において審査し、採用し得ると判断した入札仕様書等を提出した者のみ入札に参加できるものとする。

#### 7. 入札及び開札

(1) 入札は契約の申込みとして取り扱う。

(2) 代理人又は復代理人（以下「代理人」という。）が入札する場合は、入札書（参考資料2）に、代表者の氏名（年間委任状が提出されている場合は当該代理人の氏名）及び法人名称もしくは商号、代理人であることの表示並びに当該代理人の氏名を記入して押印をしておくとともに、その者に対する委任状（参考資料1）その他これに準ずる書類をもって代理権のあることを証明するものとし、入札書と同時に提出することとする。

(3) 入札書の記載方法

入札は、すべて入札書で行う。入札書は横書、楷書で明確に記載し、数字はアラビア数字を用いて作成したうえ、封かんし、封皮には、自己の氏名（法人の場合はその名称又は商号）及び「何月何日開札、\_\_\_\_\_の入札書在中」と記入しなければならない。

郵便により提出するときは、二重封筒とし、入札書の中封筒に入れて密封のうえ当該中封筒の封皮には直接提出する場合と同様に氏名等を記入し、外封筒の封皮には、「何月何日開札、\_\_\_\_\_の入札書在中」と記入しなければならない。

(4) 代表者（年間委任状による受任者を含む）又は、その代理人（以下「競争入札参加者等」という。）は、入札書の記載事項を訂正する場合は、当該訂正部分について押印をしておかなければならない。

(5) 競争入札参加者等は、その提出した入札書の差換え、変更、又は、取消をすることができない。

(6) 開札は、第2項第4号に掲げる日時及び場所で競争入札参加者等の立会いのもとに行うものとする。

(7) 競争入札参加者等が開札に立会わないときは、入札事務に関係のないセンター職員を立会わせて行うものとする。

(8) 競争入札参加者等が開札現場において、次の①～③に該当する行為があると認められたときは、入札から排除する。

①入札に際し、不当に価格を競り上げ、又は競り下げる目的をもって連合した者

②入札に参加することを妨げた者

③入札事務担当者の職務の執行を妨げた者

(9) 競争入札参加者等は、開札時刻後において、入札現場に入場することができない。

(10) 競争入札参加者等は、契約担当者が特に止むを得ない事情があると認めた場合のほか、入札現場を退場することができない。

## 8. 入札の無効

競争入札参加者等が次の各号の一に該当する場合における入札は、無効とする。

- (1) 第5項に掲げる資格を有していない者及び前項第8号に該当する者の行った入札。
- (2) 郵送により提出された入札書が所定の日時までには到着しなかったとき。
- (3) 提出された入札書が、その封筒の表記から当該入札の入札書であることが確認し難いとき。
- (4) 入札書の記載事項が不明なとき。
- (5) 入札書に記名、押印並びに代理人の場合は、代理人の表示がないとき。
- (6) 同一人が2以上の入札書を提出したとき。
- (7) 競争入札参加者等が他の競争入札参加者の代理人として入札書を提出したとき。
- (8) 前各号のほか、入札に必要な条件を備えないとき。

## 9. 落札者の決定方法

- (1) 予定価格の制限に達した入札者のうち、最低の価格をもって入札した者を落札者とする。落札者がいないときは、直ちに再度の入札を行うことがある。  
ただし、郵便による入札があった場合は、別に定める日時に再度の入札を行う。  
入札の回数は、原則として3回以内とする。
- (2) 落札となるべき同価の入札をした者が2人以上あるときは、競争参加者のうちから、くじにより落札者を決定する。  
当該競争参加者のうち出席しない者があるときは、これに代わって入札事務に関係のないセンターの職員がくじを引くものとする。
- (3) 前各号においても、センターの予定価格に達しない場合は、3回目の最低入札価格提示者と減額交渉を行うものとする。
- (4) 落札者が契約担当者の定める期日までに、センターが妥当と判断する理由により契約書の取り交わしをしないときには、落札者の決定を取り消すことができるものとする。
- (5) 労働者派遣契約の場合、6. の技術審査に合格したスキルシートに該当する派遣候補者が確保されていることが前提であり、落札後、スキルシートに該当する派遣候補者が派遣できない場合は、落札者の決定を取り消すことができるものとする。

## 10. 契約書の作成

本契約には、センターの定める契約条件による契約書を作成する。

## 11. その他

### (1) 提出書類

- ① 2025年 3月19日(水) 午後4時まで (FAX・電子メール可)

・質問書(参考資料4)

- ② 2025年 3月27日(木) 午後4時まで (電子メール可)

・資格審査結果通知書(全省庁統一資格)等の写し 1部

・入札仕様書(参考資料5) 1部

・参考見積書(消費税が分かる内訳書含む) 1部

・契約者情報連絡書 1部

・山積表 1部

・資格要件確認書に記載されている資料 1部

- ③入札・開札当日

・代理人が入札する場合は、その者に対する委任状(参考資料1)または、これに準ずる書類。

## 提出書類確認表

案件名：「MUF/SRD解析システムの整備」

開札日：2025年 4月11日(金) 午前10時00分

確認	提出書類名	提出期限	参考資料No.	備考
	質問書	2025年 3月19日(水) 午後4時まで(電子メール可)	4	入札参加者は必ず提出すること
	資格審査結果通知書 (全省庁統一資格)等の写し	2025年 3月27日(木) 午後4時まで(電子メール可)	—	
	入札仕様書	2025年 3月27日(木) 午後4時まで(電子メール可)	5	(A)～(C)を参考にすること
	参考見積書	2025年 3月27日(木) 午後4時まで(電子メール可)	—	消費税が分かる内訳書含む
	格要件確認書 (記載されている資料含む)	2025年 3月27日(木) 午後4時まで(電子メール可)	6	記入例を参考にすること
7			「品質保証計画書」を提出済みの場合参考にすること	
	契約者情報連絡書	2025年 3月27日(木) 午後4時まで(電子メール可)	10	「紙の契約書」か「電子契約」かを必ず選択すること
	山積表	2025年 3月27日(木) 午後4時まで(電子メール可)	8	
	入札辞退届	決定後速やかに(電子メール可)	3	
	入札書	【郵送の場合】2025年 4月10日(木) 午後5時必着	2	「入札書」と「委任状」についてを参考にすること
	委任状	【郵送の場合】2025年 4月10日(木) 午後5時必着	1	「入札書」と「委任状」についてを参考にすること

提出方法 (いずれか)	→	郵送、持参
押印の省略	→	不可

参考資料 1(A)

(支店長等が一定期間代理人となる場合)

年 月 日

※提出日を記入  
(郵送の場合は発送日)

## 委 任 状

公益財団法人核物質管理センター  
総務部長 猪狩 和 殿

住 所

会 社 名

代表者名

印

※代表者の肩書と氏名を記入

私は、下記の者を代理人と定め、下記は一切の権限を委任します。

### 記

代 理 人 住 所

※支店・営業所等の所在地を記入

会 社 名

※会社名及び支店・営業所等の名称を記入

代理人名

印

※代理人の肩書及び氏名を記入

委任事項

1. 入札及び見積に関する件
2. 契約締結に関する件
3. 契約代金の請求及び受領に関する件
4. 復代理の選任に関する件
5. 【その他、必要に応じて記載】

委任期間

〇〇年〇月〇日から〇〇年〇月〇日まで

代理人使用印鑑	印
---------	---

※これは参考例であり、必要に応じ適宜追加・修正して差し支えない。

提出方法 (いずれか)	→	郵送、持参
押印の省略	→	不可

参考資料 1(B)

(社員等が入札のつど代理人となる場合)

年 月 日

※提出日を記入  
(郵送の場合は発送日)

## 委 任 状

公益財団法人核物質管理センター

総務部長 猪狩 和 殿

住 所

会 社 名

代表者名

印

※代表者の肩書と氏名を記入

私は、\_\_\_\_\_を代理人と定め、下記の一切の権限を委任します。

※代理人の氏名を記入

記

委任事項

2025年4月11日に行われる「MUF／SRD解析システムの整備」の入札に関する件について

代理人使用印鑑	印
---------	---

※これは参考例であり、必要に応じ適宜追加・修正して差し支えない。



◆ 必ずお読みください ◆

## 「入札書」と「委任状」について

入札者により提出いただく「入札書」と「委任状」が異なります。  
下記を参考の上書類を作成、提出してください。

入札者	提出書類	参考資料 No.	書類記載名	押印 省略	提出方法	
代表者	入札書	2 (A)	「代表者」	不可	郵送又は持参	
	委任状	1 通目	—	—	—	
		2 通目	—	—	—	
代理人	入札書	2 (B)	「代表者」と「代理人」	不可	郵送又は持参	
	委任状	* 1 通目	*1 (A) 又は 1 (B)	「代表者」から「代理人」へ	不可	郵送又は持参
		2 通目	—	—	—	—
復代理人	入札書	2 (C)	「代理人」と「復代理人」	不可	郵送又は持参	
	委任状	* 1 通目	*1 (A) 又は 1 (B)	「代表者」から「代理人」へ	不可	郵送又は持参
		2 通目	1 (C)	「代理人」から「復代理人」へ		

※ 代 表 者 : 「資格審査結果通知書(全省庁統一資格)」記載の法人代表者

代 理 人 : 代表者以外(支店長、部長、課長等の社員等)

復 代 理 人 : 代理人が更に選任した代理人(支店等の社員等)

提出方法 (いずれか)	→	郵送、持参
押印の省略	→	不可

参考資料 2(A)  
(代表者が入札する場合)

## 入 札 書

件 名 : 「MUF/SRD解析システムの整備」

上記件名を入札説明書に定められた事項を承諾のうえ、下記のとおり入札いたします。

入札金額	拾	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円

(消費税及び地方消費税を除いた金額)

年 月 日

※提出日を記入  
(郵送の場合は発送日)

公益財団法人核物質管理センター  
総務部長 猪狩 和 殿

住 所

会 社 名

代表者名

印

※代表者の肩書と氏名を記入

提出方法 (いずれか)	→	郵送、持参
押印の省略	→	不可

参考資料 2(B)  
(社員等の代理人が入札する場合)

## 入 札 書

件 名 : 「MUF/SRD解析システムの整備」

上記件名を入札説明書に定められた事項を承諾のうえ、下記のとおり入札いたします。

入札金額	拾	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円

(消費税及び地方消費税を除いた金額)

年 月 日

**※提出日を記入**  
(郵送の場合は発送日)

公益財団法人核物質管理センター  
総務部長 猪狩 和 殿

住 所

会 社 名

代表者名

印

※代表者の肩書と氏名を記入

代理人名

印

※委任状に記載の代理人氏名を記入

提出方法 (いづれか)	⇒	郵送、持参
押印の省略	⇒	不可

参考資料 2(C)

(支店等の社員等が復代理人として入札する場合)

## 入 札 書

件 名 : 「MUF/SRD解析システムの整備」

上記件名を入札説明書に定められた事項を承諾のうえ、下記のとおり入札いたします。

入札金額	拾	億	千	百	拾	万	千	百	拾	円

(消費税及び地方消費税を除いた金額)

年 月 日

※提出日を記入  
(郵送の場合は発送日)

公益財団法人核物質管理センター

総務部長 猪狩 和 殿

住 所

会 社 名

代理人名

印

※委任状に記載の代理人氏名を記入

復代理人名

印

※委任状に記載の復代理人氏名を記入

提出方法 (いずれか)	⇒ FAX、電子メール、郵送、持参
押印の省略	⇒ 可

※本書類は参考見積書に添付してご提出ください。

公益財団法人 核物質管理センター 御中

年 月 日

## 契約者情報連絡書

案 件 名	「MUF/SRD解析システムの整備」
-------	--------------------

<b>契約書記載情報</b> ※契約書に記載する「契約名義人」情報を記載してください。	
所 在 地	(〒 - )
名 称	
役 職	
氏 名	
契約名義人 (口内に✓を記入する)	「資格審査結果通知書(全省庁統一資格)」記載の法人代表者と <input type="checkbox"/> 同じ <input type="checkbox"/> 異なる(代理人)⇒ 代表者から代理人への「委任状」を提出してください
※ 注 意 事 項	※契約名義人はセンターと契約締結をする代表者または代理人です。 (契約日が4月1日の場合は4月1日時点の契約名義人を記載) ※ 契約名義人に変更があった場合は速やかに本書類の再提出をお願いします。

<b>契約書送付先情報</b> ※「契約書を送付する」情報を記載してください。	
住 所	(〒 - )
名 称	
所 属	
役 職	
フリガナ	
氏 名	
電 話 番 号	- -
契 約 書 (口内に✓を記入する)	<input type="checkbox"/> 紙の契約書 <input type="checkbox"/> 電子契約    で取り交わし希望
電子契約書 送付先アドレス	@

<b>適格請求書発行 事業者登録番号</b>	(Tで始まる13桁の数字) T
----------------------------	--------------------

※「登録番号」について、ご不明な点がございましたら下記までお問合せください。  
(公財)核物質管理センター 総務部 経理課 TEL:03-5816-7764

センター使用欄	
---------	--

提出方法 (いずれか) ⇒ FAX、電子メール、郵送、持参

押印の省略 ⇒ 可

参考資料 3

## 入 札 辞 退 届

件 名 : 「MUF/SRD解析システムの整備」

上記の入札を都合により辞退します。

年 月 日

公益財団法人核物質管理センター

総務部長 猪狩 和 殿

住 所

会 社 名

責任者名

担当者名

連絡先

※これは参考例であり、必要に応じ適宜追加・修正して差し支えない。

提出方法 (いずれか)	⇒ FAX、電子メール、郵送、持参
押印の省略	⇒ 可

参考資料 4

参加者は必ず  
提出すること

※質疑がない場合でも、その旨を記載し提出すること

年 月 日

「MUF/SRD解析システムの整備」に係る質問書

会社名		
連絡先	担当者名	TEL
		FAX
質 問	-----	
	-----	
	-----	
	-----	
	-----	
	-----	
	-----	
	-----	
回 答	-----	
	-----	
	-----	
	-----	
	-----	
	-----	
	-----	
	-----	

センター使用欄

提出方法 (いずれか)	→	電子メール、郵送、持参
押印の省略	→	可

参考資料 5(A)

## 【入札仕様書作成例】(表紙)

公益財団法人核物質管理センター殿

### 入札仕様書

件 名 「MUF/SRD解析システムの整備」

会 社 名 :

責任者名 :

担当者名 :

連 絡 先 :

提出方法 (いずれか)	→	電子メール、郵送、持参
押印の省略	→	可

参考資料 5(B)

**(※変更点がない場合の記載例)**

入札仕様書につきましては、2025年2月26日付公示の仕様書のとおりと致します。

以上

**【注意】** 指定された物品が「相当品」となる場合は

「参考資料 5(C)」（変更点がある場合の記載例）

に記載し提出すること

提出方法 (いづれか)	→ 電子メール、郵送、持参
押印の省略	→ 可

(※変更点がある場合の記載例)

入札仕様書につきまして、下記のとおり変更または追加致します。その他につきまして  
は、2025年2月26日付公示の仕様書のとおりと致します。

記

頁	項	仕様書内容 (当センター配布)	変更内容または追加内容	備考 (変更理由、追加理由等)

以上

【注意】指定された物品が「相当品」となる場合は、その旨を記載し提出すること

資格要件確認書							
契約番号	151-073		請求元課室				
契約件名	MUF/SRD解析システムの整備		購買区分	A・B・ <b>C</b> ・D・E			
参加者名			評価の有無	無(有)下記のとおり			
評価項目	仕様書ページ	確認項目	証明資料	センター記入欄			
				判定	判定理由	判定者	
1 業務の実施・管理体制等	1.1	業務の実施体制	① 業務の実施に十分な人員数及びスキル(業務遂行に必要な有資格等)が確保されていること。	/		請求元課室長	
							② 必要な業務分担(設計開発、製造、調達、試験、検査、保守、設置工事、品質保証等)及び管理体制(品質管理責任者、作業管理者等を含む)がとられていること。
	1.2	品質管理及び情報セキュリティ体制	① 受注する製品及びサービスを要求項目に沿って提供できる品質管理システム(設計・開発を含む)が確立していること。	ISO9001の写し			請求元課室長
			② 情報セキュリティに対する管理体制が確立していること。	ISO27001の写し			請求元課室長
	1.3	コンプライアンス	①コンプライアンス違反の有無(有の場合はどのように改善したか。)	/			請求元課室長
			②不適合事象の有無(有の場合はどのように改善したか。)	/			請求元課室長
2 技術確認事項	2.1	P.2 7-(2)	技術員には、プログラミング言語Javaを用いたアプリケーション、及び、データベース・システムMSSQL、ウェブサーバサービスWebLogic Serverを用いた開発・移行経験が5年以上ある者を充てること。	左記の知識・経験を有することを示す資料			請求元課室長
	2.2	技術設備の確認					

資格要件確認書						
契約番号	151-073		請求元課室			
契約件名	MUF/SRD解析システムの整備		購買区分	A・B・ <u>C</u> ・D・E		
参加者名			評価の有無	無(有)下記のとおり		
評価項目	仕様書 ページ	確認項目	証明資料	センター記入欄		
				判定	判定理由	判定者
2.3						
物品性能の 確認						
2.4						
物品の実績 の確認						

注) 各確認事項を証する資料名を「証明資料」欄に記載し、当該資料を入札仕様書又は見積書に添付のうえ契約当事者に提出すること。

提出方法 (いずれか)	⇒ 電子メール、郵送、持参
押印の省略	⇒ 可

### 資格要件確認書

契約番号: XXX-XXX  
 契約件名: XXXXXXXXXXXXXXXX  
 社名: ●●●●株式会社

社名を記入してください。  
 ※社印は不要です。

請求元  
 購買  
 評価の有無

提出する資料名を記入してください。

評価項目	仕様書ページ	確認項目	証明資料	センター記入欄		
				判定	判定理由	判定者
1 業務の実 管理体制等		※タイトル行(太線内)は変更しないでください。 数及びスキル(業務遂行に必要有資格等)が確保されて	●●資格証(写)		「センター記入欄」には何も記入しないでください。	
		開発を含む)が確立していること。 ② 情報セキュリティに対する管理体制と。	○ QMS体制図			
		複数例示された資料から選択する場合は提出する資料名を○で囲んでください。				
2 技術確認事項	2.1 技術能力の 確認	P.1 2(3) ① ○○の資格を有する作業員を配置できること。	●●資格証(写) □ 証明書			
	2.2 技術設備の 確認		一覧			
	2.3 物品性能の 確認	P.3 4(1) の性能要件を満たしていること。	製品のスペックがわかる資料(カタログ等)			
	2.4 物品の実績 の確認	P.4 5(1) ① 過去5年間で、当該製品は、(耐震設計基準●クラスで)納入実績を示すこと。	納品実績表			

注) 参加者は、各確認事項を証する資料名を「証明資料」欄に記載し当該資料を添付のうえ契約担当者へ提出すること。

提出方法  
(いざねが) → 電子メール、郵送、持参  
押印の省略 → 可

参考資料8  
年 月 日

山 積 表

会社名: 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 印

件 名: 「MUF/SRD解析システムの整備」

作業項目 (見積内訳項目と同じ)	技術者 クラス	日付又 は月数 締結日							日付又 は月数					日付又 は月数 納期	備 考
1. 〇〇〇〇〇〇〇															
(1) 〇〇〇〇〇〇〇	Aクラス		0人日	0人日	0人日								0人日		
(2) 〇〇〇〇〇〇〇	Bクラス		0人日	0人日						0人日	0人日		0人日		
2. 〇〇〇〇〇〇〇															
(1) 〇〇〇〇〇〇〇	Bクラス				0人日	0人日									
(2) 〇〇〇〇〇〇〇	Dクラス			0人日	0人日										
3. 〇〇〇〇〇〇〇															
(1) 〇〇〇〇〇〇〇	Aクラス			0人日	0人日	0人日				0人日	0人日				
(2) 〇〇〇〇〇〇〇	Cクラス				0人日	0人日						0人日	0人日		
4. 〇〇〇〇〇〇〇															
(1) 〇〇〇〇〇〇〇	Cクラス								0人日	0人日	0人日				
(2) 〇〇〇〇〇〇〇	Dクラス										0人日	0人日			
5. 〇〇〇〇〇〇〇															
(1) 〇〇〇〇〇〇〇	Aクラス													0人日	
(2) 〇〇〇〇〇〇〇	Cクラス										0人日	0人日		0人日	

MUF/SRD解析システムの整備

仕 様 書

2025 年度

公益財団法人 核物質管理センター

## 目次

1	件名.....	1
2	目的.....	1
3	納入場所.....	1
4	納期.....	1
5	作業内容.....	1
6	試験・検査.....	1
7	業務に必要な資格等 .....	2
8	支給品及び貸与品 .....	2
9	提出書類.....	2
10	検収条件.....	3
11	契約不適合責任 .....	3
12	情報セキュリティの確保 .....	4
13	特記事項.....	4

別紙 技術仕様書

## 1 件名

MUF/SRD解析システムの整備

## 2 目的

本仕様書は、公益財団法人核物質管理センター（以下「センター」という）情報解析課が所管する業務用ウェブアプリケーションソフトウェア（以下「業務ソフト」という）であるMUF/SRD解析システムの機能改善について、受注者に請負わせる為の仕様について定めたものである。

## 3 納入場所

〒319-1106

茨城県那珂郡東海村白方白根 2-53

センター 東海保障措置センター内指定場所

## 4 納期

2026年2月27日(金)

## 5 作業内容

受注者は以下の(1)から(3)に示す作業を行うこと。

### (1) 言語変更

技術仕様書に定める範囲について、Java から C#へ変更する。

### (2) 要望対応

技術仕様書に定める要望事項について、プログラムの改修を行う。

### (3) 設計書作成

新規に設計書作成を行う。設計書はセンター情報解析課が指定する様式を使用する。

※上記改修作業に係る既存システムの構成及び作業内容の詳細については、別紙として添付した「技術仕様書」のとおりとする。

※上記改修作業以外で確認された不具合についてはセンター情報解析課に報告するものとし、対応の有無については協議の上で決定するものとする。

## 6 試験・検査

試験要領書に従って試験を実施し、プログラムが正常に動作することを確認すること。尚、上記試験要領書は、事前にセンター情報解析課に提出して承認を得ること。本番環境での試験にあたっては、センター情報解析課内の開発環境で実施した試験の合否を示す一覧表と、その根拠となるエビデンス（キャプチャ等）を合わせて提出し、了承を得た上で実施するものとする。

## 7 業務に必要な資格等

### (1) 資格

- ① 受注者は、品質に関する国際規格（ISO9001）又は日本工業規格（JIS Q 9001）に準じた品質マネジメントシステムを確立し、実施し、維持し、継続的に改善していること。
- ② 受注者は、情報技術—セキュリティ技術に関する国際規格（ISO/IEC 27001）又は日本工業規格（JIS Q 27001）に準じた情報セキュリティマネジメントシステム（ISMS）を確立し、実施し、維持し、継続的に改善していること。

### (2) 技術能力

- ① 作業にあたる技術員には、プログラミング言語Java、C#を用いたアプリケーション、及び、データベース・システムMSSQL、ウェブサーバーサービスWebLogic Server、IISを用いた開発・移行に相当する経験が5年以上ある者を充てること。
- ② 受注者は核物質の情報解析技術に関する知見、及び、情報解析に関連するシステムの開発経験を有すること。

## 8 支給品及び貸与品

### (1) 支給品

なし

### (2) 貸与品

業務ソフトのソースコード一式をセンター情報解析課から受注者に貸与する。

開発及び本番環境（業務ソフト、DB等）についてはセンター内指定場所に限り利用可能とする。

## 9 提出書類

提出する書類を以下の表に示す。提出は、全ての作業終了時に一式を電子媒体で提出するものとし、紙媒体での提出は部数に記載のあるもののみとする。電子化が困難な書類についてはセンター情報解析課と協議の上で決定するものとする。

尚、確認時期とは次の工程へ進むために当該工程における成果物（書類又はキャプチャ等のエビデンス）をセンター情報解析課へ提示する時期であり、提出時期とは納品物として最終成果物を提示する時期である。但し、作業工程により確認時期が前後する場合は、センター情報解析課の了承を得て適切な時期を調整するものとする。

書類名	確認時期	提出時期	部数
① 作業実施体制表	契約締結後速やかに	納期までに	1
② 情報セキュリティ管理計画書 <sup>※1</sup>	契約締結後速やかに	納期までに	1
③ 作業工程表	契約締結後速やかに	納期までに	1
④ 今回改修内容説明書 <sup>※2</sup>	開発開始前まで	納期までに	—
⑤ 試験要領書 <sup>※3、※4</sup>	開発試験開始2週間前まで	納期までに	—
⑥ 試験結果（エビデンス） <sup>※5</sup>	開発試験終了後2週間以内	納期までに	—
⑦ インストールマニュアル	運用系適用開始前まで	納期までに	—

⑧ ユーザーマニュアル	運用系適用後3週間以内	納期までに	—
⑨ プログラム設計書 <sup>※2</sup>	運用系適用後3週間以内	納期までに	—
⑩ ソース・プログラム	—	納期までに	—
⑪ 作業進捗報告書	2週間ごと（作業完了まで）	納期までに	—
⑫ 打合せ議事録	その都度速やかに	納期までに	—
⑬ 課題管理表	その都度速やかに	納期までに	—
⑭ 情報セキュリティ管理報告書 <sup>※1</sup>	納期までに	納期までに	1

（提出場所）センター 情報解析課

- ※1 情報セキュリティ管理計画書及び報告書については、センターから所定の様式を提供するものとし、その他については特に定めはない。但し、設計書やマニュアルなどについては、新規作成するのが妥当と判断されたもの以外は既存の書式に可能な限り準拠するものとする。
- ※2 今回改修内容説明書とは今回作業における対応の実施内容の設計書であり、プログラム設計書とは既存の設計書のことでシステム全体の設計を記載したものである。受注者は、今回改修内容説明書で今回の設計内容を説明し了承を得た上で、その内容をプログラム設計書の必要な部分に反映するものとする。
- ※3 試験要領書の提出時期はセンター情報解析課の開発系での試験開始前とするが、受注者の環境で同等の試験を実施する場合は、その試験前に提出するものとする。
- ※4 試験要領書に定めた試験項目については、受注者の環境での可否に関わらず、全てセンター情報解析課の環境で実施するものとする。
- ※5 試験結果（エビデンス）の取得対象環境はセンター情報解析課の開発系とする。但し、実データはキャプチャを含めて持ち出し不可のため、取得が困難と判断される場合には、センター情報解析課の開発系の結果と同等であることを確認した上で、受注者の環境での試験結果を提出しても差し支えない。

## 10 検収条件

「6. 試験・検査」の合格、「9. 提出書類」の提出並びに、センター情報解析課が仕様書に定める業務が実施されたと認めた時を以て、業務完了とする。

## 11 契約不適合責任

- (1) 受注者は、当該業務について仕様書及び契約内容等との不一致（以下「契約不適合」という。）が発見されたときは、センターの当該契約不適合にかかる請求に基づき、受注者の負担においてセンターが定めた期限までに、業務の再履行その他必要な措置を執らなければならない。
- (2) (1)の請求は、センターが当該契約不適合を知った時から1年以内に不適合の内容を受注者に通知する。ただし、当該契約不適合を知った時から5年を経過した場合もしくは検収後10年を超えて発見された契約不適合は除く。

## 12 情報セキュリティの確保

受注者は、本業務の遂行にあたり、「センター 情報セキュリティポリシー」、「情報管理規程」及び「情報管理要領」（以下「情報セキュリティ関係規程」という。）に準拠した情報セキュリティを確保するものとする。特に、以下の点に留意すること。

- (1) 受注者は、本業務の開始時に、本業務に係る情報セキュリティ対策とその実施方法及び管理体制についてセンター担当者に書面で提出すること。
- (2) 受注者はセンター担当者から管理情報を提供された場合には、当該情報の区分に応じて適切に取り扱うための措置を講じること。また、提供されたことを証明する書類を提出すること。
- (3) また、本業務において受注者が作成する情報については、センター担当者からの指示に応じて適切に取り扱うこと。
- (4) 受注者は、センターからの指示に応じて、情報セキュリティ対策に関する監査を受け入れること。
- (5) 受注者は、センター担当者から提供された管理情報が契約終了等により不要になった場合には、確実に返却し又は廃棄すること。また、本業務において受注者が作成した情報についても、センター担当者からの指示に応じて適切に廃棄すること。なお、返却又は破棄したことを証明する書類を提出すること。
- (6) 受注者は、センター内での作業や提出資料として電子媒体を使用する場合、事前にウィルスの感染等問題ないことを確認したうえで使用すること。また、それを証明する書類を提出すること。
- (7) 受注者は、本業務の終了時に、当該業務で実施した情報セキュリティ対策を報告すること。
- (8) センター計算機室で作業する場合、受注者はスマートフォンなどの記憶媒体を持ち込めないこととする。ただし、センターが許可し、センター立会者の許可の下使用する場合はこの限りではない。
- (9) 受注者は、USB 等の外部媒体を使用する場合はセンターが指定するものを利用し、センターの敷地内での利用に限定し、外部に持ち出さないこと。
- (10) 受注者は、システムを構成するソフトウェアのバージョンアップや脆弱性対策の必要性が確認された場合には、センターに報告の上で対応を協議し、必要に応じて適切な対策を講じること。

## 13 特記事項

- (1) 受注者は業務を実施することにより取得した当該業務及び作業に関する各データ、技術情報、成果その他のすべての資料及び情報をセンターの施設外に持ち出して発表もしくは公開し、または特定の第三者に対価をうけ、もしくは無償で提供することはできない。ただし、あらかじめ書面によりセンターの承認を受けた場合はこの限りではない。
- (2) 受注者は異常事態等が発生した場合、センターの指示に従い行動するものとする。
- (3) 受注者は、本業務により作成するプログラム設計書、ソース・プログラム及びその他

の成果物に関する著作権（著作権法第 27 条及び第 28 条に規定する権利を含む。）をセンターへ無償で譲渡するものとし、著作者人格権を行使しないものとする。

- (4) 本仕様書に記載されている事項及び本仕様書に記載のない事項について疑義が生じた場合は、センターと協議の上、その決定に従うものとする。
- (5) 作業にあたり、センター情報解析課との間で適時に十分な打合せを行うとともに作業の進捗状況をセンター情報解析課に随時報告する。

以上

## 技術仕様書

### 1. 概要

本書は、業務ソフトのプログラムの改修作業の詳細を記載したものである。

### 2. 作業内容

情報解析課で所有する業務システムは、言語のサポート期限の対策、保守効率の向上、及びレガシー化したシステムの見直しを行う目的から、2025年度から2027年度までの3年間でプログラム言語をJavaからC#へ変更し、その他各種機能の見直しと設計書の再作成を行う。

発注は年度ごとに行うものとし、年度ごとに前年度までに開発された製品とあわせて開発系に適用・動作確認するものとし、最終年度には全てが統合された製品として運用系へ適用する想定でいる。また最終年には現行サーバのリプレースが2027年9月に予定されているため、新サーバでの動作確認をあわせて実施する。尚、年度ごとに想定している開発範囲は以下のとおりとし、設計書については、既存のものを破棄して新規作成するものとする。

1年目：メインメニュー、データ取込み及びマスタ関連画面の整備。

2年目：中間ファイルの作成・結果参照・編集画面の整備。

3年目：MUF/SRD計算の整備、新サーバへのリリース、データ移行。

以下は言語変更の1年目に想定している内容。

#### ① 言語変更

JavaからC#への変更。

<変換予定機能>

テキストファイル（計算対象データ）のDBへの登録

マスタ情報（誤差情報、ストラータ情報、収支期間情報等）のDBへの登録

マスタ情報の整合性チェック機能

ユーザー情報のDBへの登録

#### ② 要望対応

項目の削除、画面遷移・レイアウトの変更など。

#### ③ 設計書作成

対応した設計書の作成。

設計書のフォーマットはセンター情報解析課が定める規定の様式とし、原則としてそれ以外のフォーマットは認めないものとする。規定の様式は以下の通り分類される。

基本機能、外部連携機能、データベーステーブル、入出力ファイル、  
画面、帳票、試験要領書

尚、一連の対応について、動作試験（新旧の両システムの結果の比較を含む）をセンター情報解析課が用意した開発環境で行うものとする。開発及び動作試験の進捗、品質の状況は適宜センター情報解析課へ報告すること。

また、原則として実際のデータは貸与できないことから、調査にあたって十分な現地確認を実施するものとし、テストデータは受注者が用意すること。

### 3. 業務ソフトの構成

#### 3-1 インストール対象

センター情報解析課が指定する1つの環境（開発系）に対して実施する。

#### 3-2 変更対象

変更を行うソフトは次に示すとおり。尚、本ソフトは現在も改修中であり、2025年2月完成予定のため、一部の情報に変更もありえることに留意すること。

##### 1. MUF/SRD 解析システム

#### 3-3 動作環境

動作環境は次に示すとおり。下線部分に変更箇所を示している。

##### <現環境>

① サーバの OS	: Windows Server 2019
② クライアント PC の OS	: Windows 10 Pro
③ 開発言語	: <u>JDK8.0</u>
④ DB	: Microsoft SQL Server 2019 (互換性レベル 150)
⑤ Web サーバ	: <u>WebLogic Server 14c (14.1.1.0)</u>
⑥ Web ブラウザ	: Edge

##### <開発環境>

⑦ サーバの OS	: Windows Server 2019
⑧ クライアント PC の OS	: Windows 10 Pro
⑨ 開発言語	: <u>C# (.NET8.0 以上)</u>
⑩ DB	: Microsoft SQL Server 2019 (互換性レベル 150)
⑪ Web サーバ	: <u>IIS10.0 (Windows Server 2019 相当)</u>
⑫ Web ブラウザ	: Edge

#### 3-4 データベース定義

現在定義されている情報は次に示すとおり。

##### ①MUF/SRD 解析システム

テーブル数 : 31 項目数 : 392

#### 3-5 プログラム情報

プログラムのうち、主要なファイルの内訳は次に示すとおり。

尚、現在未使用のファイル、及び改行やコメント行も含んでいる。

- ・ Java 168 本 (約 54000 行)
- ・ Jsp 62 本 (約 13000 行)

ただしこれは、2024年度初頭の情報であり、2024年度改修の内容は含まれていない。尚、2024年度の改修では、以下の画面が新規作成されている。

- B) データ取込み画面
- Q) ユーザー登録画面

### 3-6. 主要画面構成

主要画面構成は次に示すとおりであり、サブウインドウやポップアップ、軽微な処理画面等の情報は含まれていない。

#### <業務ソフト概要>

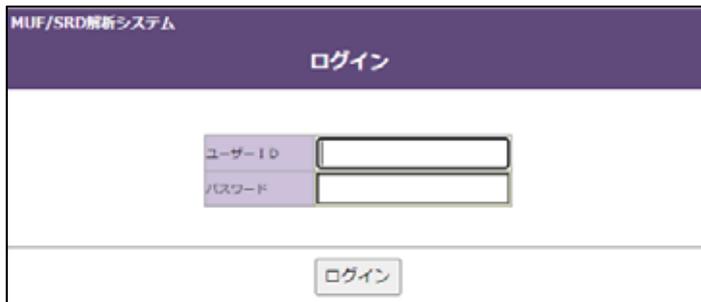
バルク施設の計量データ評価(MUF/SRD 評価)を実施している。具体的には、一定の期間内に計量された核物質の収支を計算し、計量上の誤差の範囲内であるかを評価するものであり、この業務の効率化を図るため、誤差分散計算に使用する計量誤差の情報、ストラータ情報、収支期間情報、払出施設情報の管理、誤差分散計算を行うシステムである。

#### <画面構成>

##### A) 共通画面

##### ・ログイン画面

ユーザー情報を入力し、メニュー画面へ移動する。



##### ・メニュー選択

各業務画面へ移動する。



## B) データ取込み画面

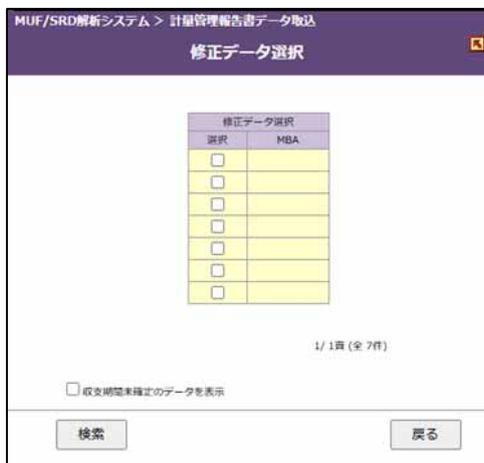
### ・データ取込み

対象の CSV ファイルを選択し取込み処理を実行する。



### ・修正データ選択

取込みデータ内に修正データに該当するデータがあった場合、MBA の一覧を表示する。



### ・修正データ検索結果

修正データに対して、修正前後のデータ内容と差異のある項目を表示する。報告書タイプに応じて 3 種類の画面があり、それぞれ 18 項目、22 項目、25 項目を表示する。



C) データ検索画面

・データ検索

対象データのMBA、対象期間を入力して検索を開始する。

・データ検索値設定

対象となる報告書タイプごとに3種類の詳細検索を行う画面があり、それぞれ20項目、24項目、27項目の入力を可能とする。

・データ検索結果

検索値に応じて検索結果を表示する。報告書タイプに応じて3種類の画面があり、それぞれ23項目、27項目、30項目を表示する。



## E) バッチ名検索

### ・バッチ名検索

対象データのMBA、バッチ名、対象期間を入力して検索を開始する。

### ・データ検索結果 (バッチ名)

検索条件に応じて結果を表示する (31 項目)

## F) 中間ファイル作成画面

- 中間ファイル作成状況一覧

中間ファイルの作成状況の照会、及び中間ファイルの作成実行画面へ移動する。

No.	MUF/SRD	MBA	対象期間	ファイル名	オプション	コード名	メッセージ	始発開始日時	始発終了日時	実行済
-----	---------	-----	------	-------	-------	------	-------	--------	--------	-----

- 中間ファイル作成実行

パラメータを入力し、中間ファイルを作成する。

中間ファイル作成条件を指定して下さい	
MUF/SRD	<input type="text"/>
MBA	<input type="text"/>
対象期間	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
ファイル名	<input type="text"/>
オプション	<input checked="" type="checkbox"/> SRD処理の有無 <input checked="" type="checkbox"/> LN処理の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 臨時勘定処理の有無

## G) MUF 中間ファイル管理画面

- 中間ファイル名一覧

MBA コードごとの MUF 中間ファイルの一覧を表示する。

一覧から選択したファイルに対して、画面下の各処理を実行する。

MUF/SRD解析システム > MUF用中間ファイル管理

ファイル名一覧

MBA

選択	No	ファイル名	期首	期末
<input type="checkbox"/>	1		B	E
<input type="checkbox"/>	2		B	E
<input type="checkbox"/>	3		B	E
<input type="checkbox"/>	4		B	E
<input type="checkbox"/>	5		B	E
<input type="checkbox"/>	6		B	E
<input type="checkbox"/>	7		B	E
<input type="checkbox"/>	8		B	E
<input type="checkbox"/>	9		B	E
<input type="checkbox"/>	10		B	E
<input type="checkbox"/>	11		B	E
<input type="checkbox"/>	12		B	E
<input type="checkbox"/>	13		B	E
<input type="checkbox"/>	14		B	E
<input type="checkbox"/>	15		B	E

< >> 1/9頁 (全 131件)

- コード・名称変更

MBA コード、又はファイル名を変更する。

MUF/SRD解析システム > MUF用中間ファイル管理

MBAコード・ファイル名の変更

	変更前	変更後
MBA	<input type="text"/>	<input type="text"/>
ファイル名	<input type="text"/>	<input type="text"/>

- ファイル複写

中間ファイルを複写する。

MUF/SRD解析システム > MUF用中間ファイル管理

複写登録

	複写元	複写先
MBA	<input type="text"/>	<input type="text"/>
ファイル名	<input type="text"/>	<input type="text"/>



・二重データ削除

重複対象のデータの削除処理の実行、内訳の表示を行う。二重データとは、一定期間内の在庫の変動がなかったもの（期首と期末が等しい在庫）を示し、評価計算には不要データとして扱うものである。

MUF/SRD解新システム > MUF用中間ファイル管理

### 二重データの削除指定

ファイル名: TEST9014

削除対象データを選択して下さい

<input type="checkbox"/>	期首在庫と期末在庫が同一のデータ	件
<input type="checkbox"/>	期首在庫と期間減少が同一のデータ	件
<input type="checkbox"/>	期間増加と期末在庫が同一のデータ	件
<input type="checkbox"/>	期間増加と期間減少が同一のデータ	件

件数表示 削除 内訳確認 戻る

・データ編集

中間ファイルデータの検索を行い、修正・複写・削除を実施する。

MUF/SRD解新システム > MUF用中間ファイル管理

### データ検索

MBA: \_\_\_\_\_ ファイル名: \_\_\_\_\_

検索条件を指定して下さい

日付範囲指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	データタイプ指定	<input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> O	検索 クリア
バッチ名範囲指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	元素コード指定	<input type="checkbox"/> P <input type="checkbox"/> H <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> D	
元素重量範囲指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	積分型性物質重量範囲指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	
ストラータ名指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	アイテム数指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	
KMP指定	<input type="text"/> ※カンマ区切り	MDC指定	<input type="text"/>	
MOXフラグ指定	<input type="text"/>	濃縮区分指定	<input type="text"/>	

選択	No	実在庫日	バッチ名	ELM	TYPE	ストラータ	アイテム	元素重量(kg)	積分型性物質重量(kg)	KMP	MOX	MDC	濃縮区分
<input type="checkbox"/>	1												
<input type="checkbox"/>	2												
<input type="checkbox"/>	3												
<input type="checkbox"/>	4												
<input type="checkbox"/>	5												
<input type="checkbox"/>	6												
<input type="checkbox"/>	7												
<input type="checkbox"/>	8												
<input type="checkbox"/>	9												
<input type="checkbox"/>	10												
<input type="checkbox"/>	11												
<input type="checkbox"/>	12												
<input type="checkbox"/>	13												
<input type="checkbox"/>	14												
<input type="checkbox"/>	15												

> >> 1/5頁 (全 71件)

更新 複写 削除 戻る

- ・ダウンロード  
中間ファイルデータを CSV にしてダウンロードする。

- ・アップロード  
CSV ファイルを使用して、中間ファイルを作成する。

MUF/SRD解析システム > MUF用中間ファイル管理

### 中間ファイル登録

MUF/SRD	MUF	MBA	
---------	-----	-----	--

一括更新または新規追加するファイルを指定して下さい

対象ファイル  ファイルが選択されていません

- ・MUF MUF 計算、MUF-D 計算、MV 計算、D 計算、新 MUF 計算  
それぞれの計算処理を実行する。

MUF/SRD解析システム > 計算

### MUF/MUF-D/SRD計算実行

計算実行条件を指定して下さい

計算区分	1: MUF
ファイル名	TEST9014
読取対象年	
読取タイプ	
種類	<input type="checkbox"/> P
	<input type="checkbox"/> U <input type="checkbox"/> H <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> D
区分変更	Y <input type="checkbox"/> ※ 濃縮の場合にNを指定

## H) SRD 中間ファイル管理画面

- SRD 中間ファイル名一覧

MBA コードごとの SRD 中間ファイルの一覧を表示する。

一覧から選択したファイルに対して、画面下の各処理を実行する。

MUF/SRD解析システム > SRD用中間ファイル管理

ファイル名一覧

MBA

選択	No	ファイル名	期首	期末
<input type="checkbox"/>	1		1	0
<input type="checkbox"/>	2		1	0
<input type="checkbox"/>	3		1	0
<input type="checkbox"/>	4		1	0
<input type="checkbox"/>	5		1	0
<input type="checkbox"/>	6		1	0
<input type="checkbox"/>	7		1	0
<input type="checkbox"/>	8		1	0
<input type="checkbox"/>	9		1	0
<input type="checkbox"/>	10		1	0
<input type="checkbox"/>	11		1	0
<input type="checkbox"/>	12		1	0
<input type="checkbox"/>	13		1	0
<input type="checkbox"/>	14		1	0
<input type="checkbox"/>	15		1	0

> >> 1/11頁 (全 157件)

- コード編集・名称変更～アップロードまで

「G) MUF 中間ファイル管理画面」と同等の機能で SRD に対応したもの



- 更新

ストレータ情報の更新処理を行う。

MUF/SRD更新システム > マスタ管理

### ストレータ情報更新

更新内容を入力して下さい(#は(ALL)の指定が可能な項目です)

MUF/SRD	<input type="text"/>	HBA	<input type="text"/>
抽出MBA番号	<input type="text"/>	抽出種類	<input type="text"/>
仕様(#)	<input type="text"/>	MOX(#)	<input type="text"/>
KMR(#)	<input type="text"/>	MDC	<input type="text"/>
データタイプ(#)	<input type="text"/>		
パック名(#)	<input type="text"/>	パック名先頭1バイト(#)	<input type="text"/>
ストレータ番号	<input type="text"/>		
備考	<input type="text"/>		

実行 戻る

- 削除

ストレータ情報の削除処理を行う。

MUF/SRD更新システム > マスタ管理

### ストレータ情報削除確認

選択された明細 1 件を削除します

削除する場合は DELETE を入力して下さい

DELETE

実行 戻る

- 検索結果ダウンロード

ストレータ情報を CSV にしてダウンロードする。

J) 一括（※ストラータ情報管理の右隣）

ストラータ情報について、CSV ファイルを使用して一括処理を行う。

- 一括更新  
CSV ファイルの内容で、一括更新を行う。
- 新規追加  
CSV ファイルの内容で、新規追加を行う。
- QC 結果ダウンロード  
エラー情報を CSV にしてダウンロードする。
- データダウンロード  
指定した MBA のストラータ情報を CSV にしてダウンロードする。
- ストラータ情報一覧  
ストラータ情報一覧画面へ移動する。



- 更新

誤差情報の更新処理を行う。

MUF/SRD解析システム > マスタ管理

### 誤差情報更新

追加内容を入力して下さい

MUF/SRD	<input type="text"/>	MEA	<input type="text"/>	件	<input type="text"/>
誤差タイプ	<input type="text"/>	私出がMEA番号	<input type="text"/>	測定種類	<input type="text"/>
ストーリー番号	<input type="text"/>				
施設者識別誤差[%rel]	<input type="text"/>	施設者短期系統誤差[%rel]	<input type="text"/>	施設者長期系統誤差[%rel]	<input type="text"/>
直営者識別誤差[%rel]	<input type="text"/>	直営者短期系統誤差[%rel]	<input type="text"/>	直営者長期系統誤差[%rel]	<input type="text"/>
偏り (期待有無)	<input type="text"/>	偏り (期待有無以外)	<input type="text"/>		
試料数 (期待有無)	<input type="text"/>	試料数 (期待有無以外)	<input type="text"/>		
(Pu) 元素量[kg] [期待有無]	<input type="text"/>	(Pu) 元素量[kg] [期待有無以外]	<input type="text"/>		
(U) 元素量[kg] [期待有無]	<input type="text"/>	(U) 元素量[kg] [期待有無以外]	<input type="text"/>		
(U) 核分裂性物質重量[kg] [期待有無]	<input type="text"/>	(U) 核分裂性物質重量[kg] [期待有無以外]	<input type="text"/>		
備考	<input type="text"/>				

- 削除

誤差情報の削除処理を行う。

MUF/SRD解析システム > マスタ管理

### 誤差情報削除確認

選択された明細 1 件を削除します

削除する場合は DELETE を入力して下さい

DELETE

- 検索結果ダウンロード

誤差情報を CSV にしてダウンロードする。

L) 一括（※誤差情報管理の右隣）

誤差情報について、CSV ファイルを使用して一括処理を行う。

MUF/SRD解析システム > マスタ管理

誤差情報一括更新

検索条件を指定して下さい

MUF/SRD 1: MUF

MBA

検索 クリア

全選択 全解除

選択	年	計算に使用する誤差 (デフォルト)	登録件数
<input checked="" type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	

一括更新または新規追加するファイルを指定して下さい

ファイル ファイルの選択 ファイルが選択されていません

一括更新 新規追加 QC結果ダウンロード メニュー

データダウンロード デフォルト 誤差情報一覧

- 一括更新  
CSV ファイルの内容で、一括更新を行う。
- 新規追加  
CSV ファイルの内容で、新規追加を行う。
- QC 結果ダウンロード  
エラー情報を CSV にしてダウンロードする。
- データダウンロード  
指定した年の誤差情報を CSV にしてダウンロードする。
- デフォルト  
計算に使用するデフォルト年を指定する。
- 誤差情報一覧  
誤差情報一覧画面へ移動する。

### M) 払出施設情報管理画面

払出先の MBA に関する情報の追加・更新・削除・CSV ダウンロードなどの各処理を実行する。

MUF/SRD解析システム > マスタ管理

### 払出施設情報一覧

検索条件を指定して下さい

MBA

選択	払出 MBA	払出 MBA No	備考
<input type="checkbox"/>		1	
<input type="checkbox"/>		2	
<input type="checkbox"/>		3	
<input type="checkbox"/>		3	
<input type="checkbox"/>		3	
<input type="checkbox"/>		4	
<input type="checkbox"/>		5	
<input type="checkbox"/>		6	
<input type="checkbox"/>		7	
<input type="checkbox"/>		7	
<input type="checkbox"/>		8	
<input type="checkbox"/>		9	

> >> 1/2頁 (※ 21件)

- 追加

払出施設情報の追加処理を行う。

- 更新

選択した払出施設情報の更新処理を行う。

- 削除

選択した払出施設情報の削除処理を行う。

MUF/SRD解析システム > マスタ管理

### 払出施設情報削除確認

選択された明細 1 件を削除します

削除する場合は DELETE を入力して下さい

DELETE

- 検索結果ダウンロード

払出施設情報を CSV にしてダウンロードする。

N) 収支期間情報管理画面

収支期間に関する情報の追加・更新・削除・CSVダウンロードなどの各処理を実行する。

MUF/SRD解析システム > マスタ管理

収支期間情報一覧

検索条件を設定して下さい

MBA

選択	収支期間 (開始)	収支期間 (終了)	収支期間番号
<input type="checkbox"/>			1
<input type="checkbox"/>			2
<input type="checkbox"/>			3
<input type="checkbox"/>			4
<input type="checkbox"/>			5
<input type="checkbox"/>			6
<input type="checkbox"/>			7
<input type="checkbox"/>			8
<input type="checkbox"/>			9
<input type="checkbox"/>			10
<input type="checkbox"/>			11
<input type="checkbox"/>			12
<input type="checkbox"/>			13
<input type="checkbox"/>			14
<input type="checkbox"/>			15

> >> 1/3頁 (全40件)

・追加

収支期間情報の追加処理を行う。

MUF/SRD解析システム > マスタ管理

収支期間情報追加

追加内容を入力して下さい

MBA

収支期間 (開始)

収支期間 (終了)

収支期間番号

- 更新

選択した収支期間情報の更新処理を行う。



- 削除

選択した払出施設情報の削除処理を行う。



- 検索結果ダウンロード

収支期間情報を CSV にしてダウンロードする。

### ○) 整合性チェック画面

入力したストラータ情報、誤差情報、払出施設情報の整合性をチェックする。対象施設毎にストラータ別・測定方法別に誤差情報が正しく登録されているかをカウントし、カウントが0件であれば不足項目があることを画面に表示させる。

MUF/SRD解析システム > マスタ管理

整合性チェック【ストラータ情報/誤差情報/払出施設情報】

チェック条件を指定して下さい

MUF/SRD: 1: MUF MIBA: [ ]

施設: [ ] 誤差タイプ: 1: MPV

チェック クリア

以下のストラータ情報に該当する誤差情報または払出施設情報が不足しています

施設	STNo	測定種類	払出MIRNo	誤差情報	払出施設情報
<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>					
<input type="checkbox"/>					

1 / 1頁 (全 4件)

チェック結果をCSVにダウンロード

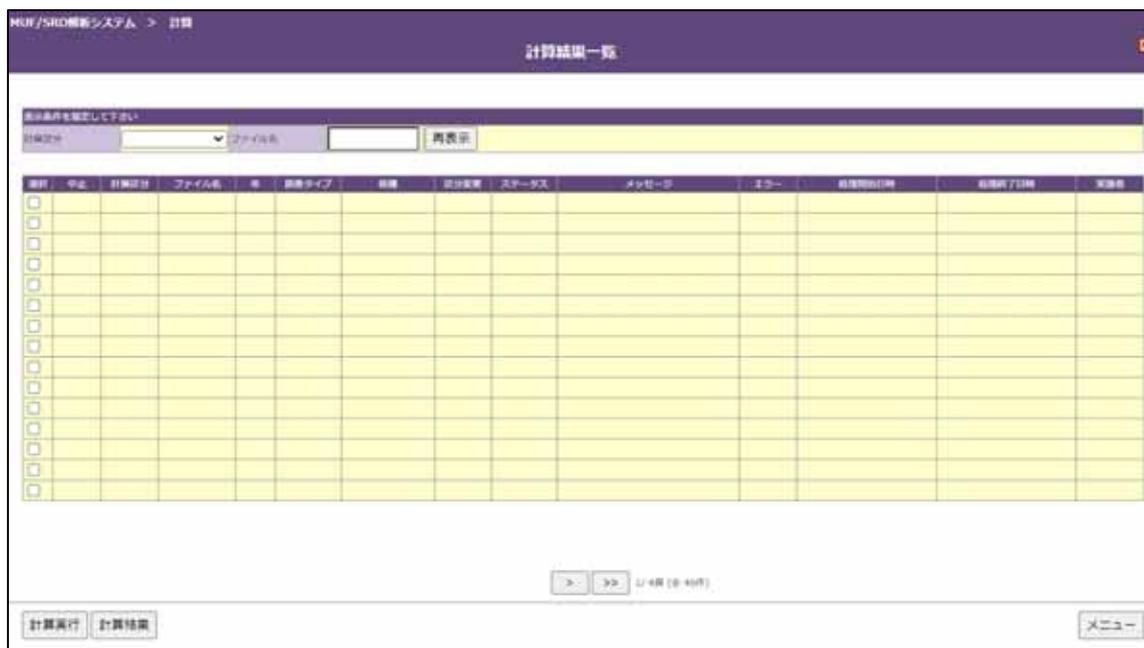
メニュー

ストラータ情報一覧 誤差情報一覧 払出施設情報一覧

- ・チェック結果ダウンロード  
チェック結果をCSVにしてダウンロードする。
- ・ストラータ情報一覧、誤差情報一覧、払出施設情報一覧  
それぞれ各一覧画面に移動する。

P) 計算結果一覧・実行画面

計算の実行と、計算結果一覧及び内容の照会、CSV ダウンロードを行う。



・計算実行

選択した中間ファイルを元に計算を実行する。尚、実行できる計算は以下の6種類がある。

- 1 : MUF    2 : MUF-D    3 : SRD    4 : MV    5 : D    6 : NEW-MUF



- ・計算結果

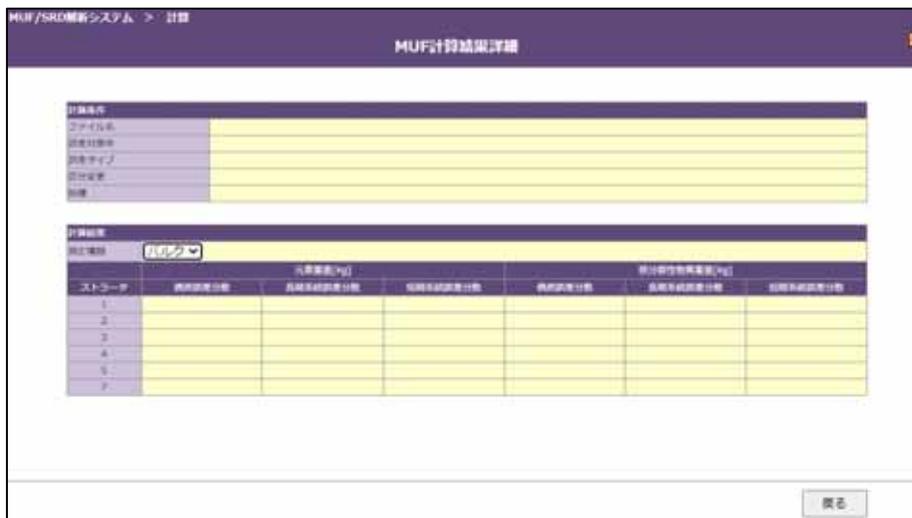
選択した計算区分に応じた結果画面を表示し、それぞれ結果の詳細、結果およびエラー情報の CSV ダウンロードを行う。

計算区分=MUF の場合  
一覧



計算結果詳細

計算の詳細な内容を表示する。



- ・計算結果ダウンロード

計算結果を CSV にしてダウンロードする。

- ・エラーダウンロード

計算時のエラー情報を CSV にしてダウンロードする。

計算区分=MUF-D の場合  
一覧



計算結果詳細

計算の詳細な内容を表示する。



- 計算結果ダウンロード  
計算結果を CSV にしてダウンロードする。
- 計算明細ダウンロード  
選択した核種の計算明細を CSV にしてダウンロードする。
- エラーダウンロード  
計算時のエラー情報を CSV にしてダウンロードする。

計算区分=SRD の場合  
一覧

SRD計算結果

計算条件	
ファイル名	
計算対象物	
計算タイプ	
区分変更	

計算結果		元素重量[kg]			
源沢	種類	抽出濃度値	検定値	SRD	eSRD
	P				
	U				
	H				
<input type="checkbox"/>	E				
<input type="checkbox"/>	N				
<input type="checkbox"/>	D				

計算結果		水分乾性物質重量[kg]			
源沢	種類	抽出濃度値	検定値	SRD	eSRD
	U				
	H				
<input type="checkbox"/>	E				
<input type="checkbox"/>	N				
<input type="checkbox"/>	D				

計算結果詳細

計算の詳細な内容を表示する。

SRD計算結果詳細

計算条件	
ファイル名	
計算対象物	
計算タイプ	
区分変更	
種類	

計算結果	計算種類	SRD	元素重量[kg]
ストラータ	抽出濃度	検定値	水分乾性物質重量
57			
58			

- 計算結果ダウンロード  
計算結果を CSV にしてダウンロードする。
- エラーダウンロード  
計算時のエラー情報を CSV にしてダウンロードする。

計算区分=Mv の場合  
一覧

MUF/SRD解析システム > 計算

### MV計算結果

計算条件	
ファイル名	
計算対象年	
計算タイプ	
区分変更	

選択	標種	元素量[kg]		検分製作物質量[kg]	
		V(MV)	dMV	V(MV)	dMV
<input type="checkbox"/>	P				
	U				
	H				
	E				
	N				
	D				

計算結果詳細

計算の詳細な内容を表示する。

MUF/SRD解析システム > 計算

### MV計算結果詳細

計算条件	
ファイル名	
計算対象年	
計算タイプ	
区分変更	
結果	

計算条件		元素量[kg]		検分製作物質量[kg]	
要素	検分製作物質量	元素量	検分製作物質量	元素量	検分製作物質量
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					

- ・計算結果ダウンロード  
計算結果を CSV にしてダウンロードする。
- ・エラーダウンロード  
計算時のエラー情報を CSV にしてダウンロードする。

計算区分=D の場合  
一覧

計算結果詳細

計算の詳細な内容を表示する。

- ・計算結果ダウンロード  
計算結果を CSV にしてダウンロードする。
- ・計算明細ダウンロード  
選択した核種の計算明細を CSV にしてダウンロードする。
- ・エラーダウンロード  
計算時のエラー情報を CSV にしてダウンロードする。

計算区分=D の場合  
一覧

新MUF計算結果

計算条件

計算区分	計算条件
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	

計算結果

計算区分	計算条件	計算結果
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		

計算結果詳細   計算結果ダウンロード   計算明細ダウンロード   エラーダウンロード   戻る

計算条件一覧

計算結果詳細

計算の詳細な内容を表示する。

新MUF計算結果詳細

計算条件

計算区分	計算条件
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	

計算結果

計算区分: 1

計算区分	計算条件	計算結果
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		

戻る

- ・計算結果ダウンロード  
計算結果を CSV にしてダウンロードする。
- ・計算明細ダウンロード  
選択した核種の計算明細を CSV にしてダウンロードする。
- ・エラーダウンロード  
計算時のエラー情報を CSV にしてダウンロードする。

Q) ユーザー登録画面

ユーザー情報の登録・更新・削除を行う。



選択	ユーザーID	パスワード	ユーザー名	権限
<input type="checkbox"/>				
<input type="checkbox"/>				

追加 更新 削除 メニュー

・追加

ユーザー情報を追加する。



ユーザーID	<input type="text"/>
パスワード	<input type="text"/>
ユーザー名	<input type="text"/>
権限	<input checked="" type="radio"/> 一般 <input type="radio"/> 管理者

実行 戻る

・更新

ユーザー情報を更新する。



ユーザーID	USER
パスワード	<input type="text"/>
ユーザー名	<input type="text"/>
権限	<input checked="" type="radio"/> 一般 <input type="radio"/> 管理者

実行 戻る

・削除

ユーザー情報を削除する。

#### 4. 要望対応

改修における要望対応の詳細について以下に示す。

尚、事前調査等で認識している情報を記載したものであるため、改修にあたっては受注者の責任においてプログラムを調査解析し、改修方法を検討する。調査結果により、以下に示した内容以外においても改修が必要な場合や、別年度での改修予定部分への対応が必要な場合でも原則として改修するものとするが、程度に応じて別途協議の上で決定するものとする。

##### 4-1 言語変更

Java を C# に変換する。各年度別の変換予定は以下の通りで、今回はそのうち1年目に該当する画面及びそれに関連する内部処理の変換を行うものとする。尚、各処理はプログラム内部で相互に関連しているため、関連の度合いによっては必ずしも処理が各画面単位で完結せず、1年目の一部項目を後倒しとする、または2年目や3年目の一部項目を前倒しする状況が生じる場合があり得る（例えば、1年目の改修を検討した結果、2年目で変換予定の画面又は内部機能に対して改修が必要となる場合には、1年目の作業範囲内として対応するものとする。逆に2年目に1年目の内容に対して追加対応を行う場合もあり得る）。これらの状況が生じた場合、その程度に応じて別途協議の上で決定するものとする。

###### (1年目)

- A) 共通画面
- B) ファイル取込み画面
- C) データ検索画面
- D) 報告書番号検索画面
- E) バッチ名検索画面
- I) ストラータ情報管理画面
- J) 一括（※ストラータ情報管理の右隣）
- K) 誤差情報管理画面
- L) 一括（※誤差情報管理の右隣）
- M) 払出施設情報管理画面
- N) 収支期間情報管理画面
- O) 整合性チェック画面
- Q) ユーザー登録画面

###### (2年目)

- F) 中間ファイル作成画面
- G) MUF 中間ファイル管理画面
- H) SRD 中間ファイル管理画面

###### (3年目)

- P) 計算結果一覧・実行画面

#### 4-2 払出施設情報の見直し

「M) 払出施設情報管理画面」では、登録済の「払出 MBA 番号」と同一の番号を登録できない仕様となっている。



しかし、この項目はキー項目でもなく、重複して登録したい場合があるため、本エラーを回避して登録できるように修正する。

#### 4-3 コード情報テーブルの更新画面の作成

DB のテーブル「コード情報テーブル」は、現在メンテナンス用の画面が存在しておらず、必要に応じて DB を直接修正する仕様となっているため、追加・更新・削除・CSV ダウンロード機能を備えたメンテナンス画面を作成する。

- テーブル内容

キー	日本語名称	属性	桁数
○	コード区分	Char	2
○	コード	Char	4
	コードタイプ	Char	1
	コードフラグ	char	2
	備考	nvarchar	80

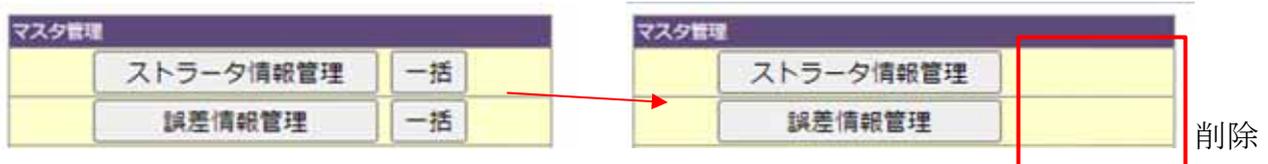
- 画面イメージ

#### 4-4 ストラータ・誤差情報管理画面の一括処理の見直し

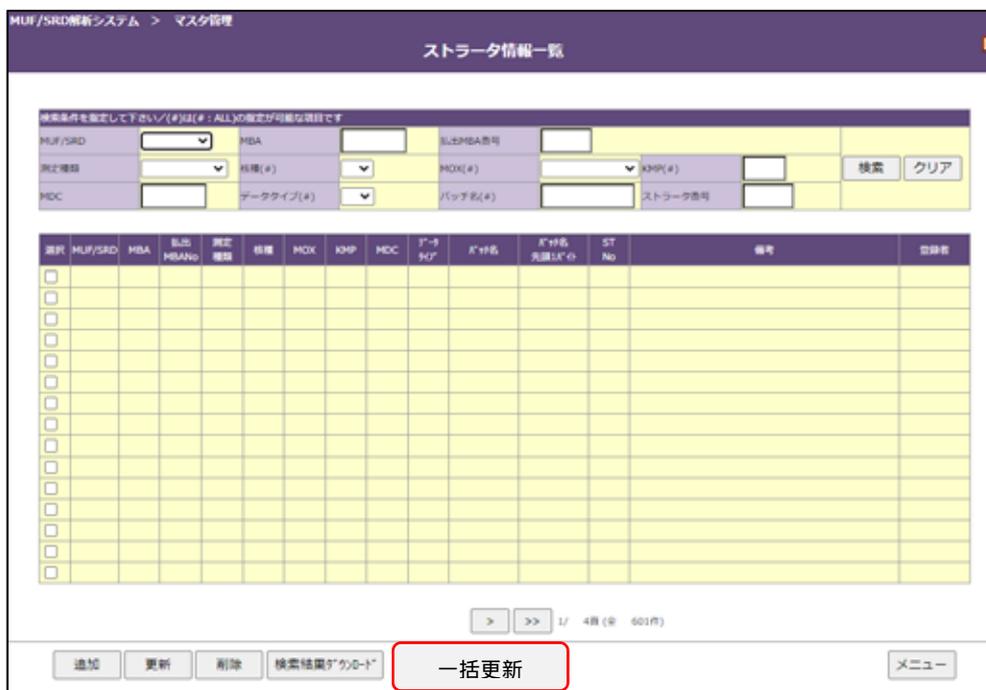
ルートメニューには、「I) ストラータ情報管理画面」には「J) 一括」、「K) 誤差情報管理画面」には「L) 一括」とそれぞれ個別処理と一括処理のボタンが配置されている。

今後、一括ボタンは個別処理画面内に配置してルートメニューからは削除し、重複する機能を見直して全体をスリム化させる。

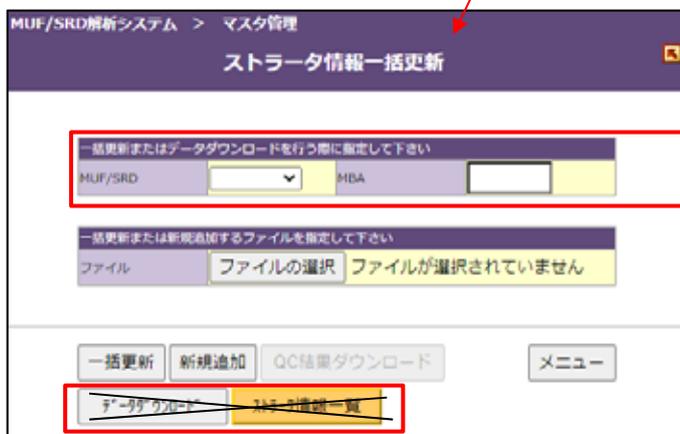
(ルートメニューの変更イメージ)



(ストラータ情報管理画面の変更イメージ)



ボタン追加。押下時、一括画面へと遷移。



前画面の内容を自動セット

削除





#### 4-6 誤差情報管理画面の見直し

「K) 誤差情報管理画面」から不要項目を削除する。また一覧画面に不足している項目を追加する。

(不要項目)

削除

(一覧に不足している項目)

選択	MUF/SRD	MBA	年	誤差 タイプ	引出 HISANo	測定 種類	ST No	取捨者誤差			備考	登録者
								偶然 [Need]	短期系統 [Need]	長期系統 [Need]		
<input type="checkbox"/>	1		20	1	1	B	1					
<input type="checkbox"/>	1		20	1	1	B	2					
<input type="checkbox"/>	1		20	1	1	B	3					
<input type="checkbox"/>	1		20	1	1	B	4					
<input type="checkbox"/>	1		20	1	1	B	5					
<input type="checkbox"/>	1		20	1	1	B	6					
<input type="checkbox"/>	1		20	1	1	B	7					
<input type="checkbox"/>	1		20	1	1	B	8					
<input type="checkbox"/>	1		20	1	1	B	88					
<input type="checkbox"/>	1		20	1	1	E	1					
<input type="checkbox"/>	1		20	1	1	E	2					
<input type="checkbox"/>	1		20	1	1	E	3					
<input type="checkbox"/>	1		20	1	1	E	4					
<input type="checkbox"/>	1		20	1	1	E	5					
<input type="checkbox"/>	1		20	1	1	E	6					

3項目（査察者誤差の偶然、短期系統、長期系統）を追加する。

#### 4-7 誤差情報の桁数拡張

「K) 誤差情報管理画面」の「年」は2桁で設定されており、西暦の下2桁を登録している。今後これを西暦4桁登録できるように変更する。

選択	MUF/SRD	MBA	年	誤差タイプ
<input type="checkbox"/>	1		20	1
<input type="checkbox"/>	1		20	1

#### 4-8 オレンジ色のボタンの見直し

「J) 一括 (※ストラータ情報管理の右隣)」「L) 一括 (※誤差情報管理の右隣)」「O) 整合性チェック画面」の画面下に背景色がオレンジ色のボタンが配置されている。動作はボタンにより異なっており、対象処理の実行、または対象画面へ移動するなどの機能が備わっている。

これらのボタンは今後不要となるため、今回作業において削除するものとする。

(例)

MUF/SRD最新システム > マスタ管理

整合性チェック [ストラータ情報/誤差情報/乱出施設情報]

チェック条件を設定して下さい

MUF/SRD: 1: MUF ▼ MBA: [ ] 年: 21 誤差タイプ: 1: MPV ▼

チェック クリア

以下のストラータ情報に該当する誤差情報または乱出施設情報が不足しています

選択	STNo	測定種類	乱出MBANo	誤差情報	乱出施設情報
<input type="checkbox"/>	17	B	1	x	
<input type="checkbox"/>	18	B	1	x	
<input type="checkbox"/>	17	P	1	x	
<input type="checkbox"/>	18	P	1	x	

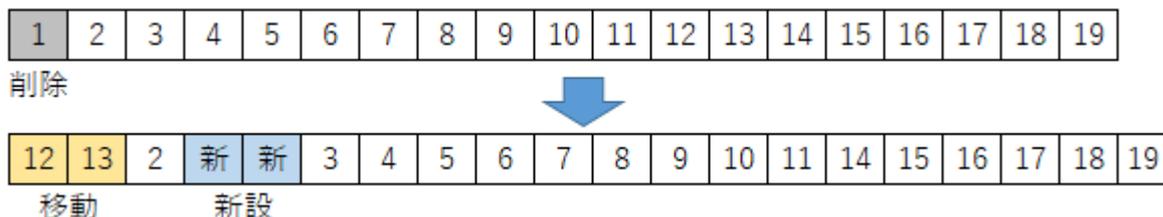
1/1頁 (全4件)

一括結果をダウンロード 一括結果を印刷 一括結果を削除

#### 4-9 ストラータ情報の見直し

「G」MUF 中間ファイル管理画面の「ストラータ分け」画面の一覧において、表示順序を変更する。また、新規項目を2つ追加し、不要な項目を1つ削除する。

(変更イメージ)



新規項目2つはストラータ情報を元に誤差情報マスタを読み込み、その情報を入力する。但し、情報自体が60桁程度あるために横幅が広く見づらくなることから、画面上は30桁程度の横幅で出力し、文字列全体はツールチップ等の対応で全体が判別可能な対応を行う。

また削除項目である「ストラータ名」については、ストラータ分けDBのキー情報となっていることから、キー情報を変更する。尚、「ストラータ名」は下表の「データ種別」「重量系統誤差番号」「分析系統誤差番号」の項目を文字列として結合した情報のため、この変更による影響はないものと見込んでいるが、受注者の責任において影響の有無を確認し、問題が発生する場合には代替え案について別途協議して決定するものとする。

(ストラータ分けDBの構造と変更案)

キ	日本語項目名称	
<input type="radio"/>	ファイル名	
<input type="radio"/>	MBAコード	
<input type="radio"/>	バッチ名	
<input type="radio"/>	ストラータ名	削除
<input type="radio"/>	データ種別	
<input type="radio"/>	元素コード	
	申告の総アイテム数	
	申告の総バッチ数	
	サンプル数/バッチ	
	分析回数/サンプル	
	選択したバッチ数	
	測定数/バッチ	
	分析試料数/バッチ	
	繰返し分析回数	
	検認対象ストラータ	
	ストラータ種別	
<input type="radio"/>	重量系統誤差番号	キー情報に追加
<input type="radio"/>	分析系統誤差番号	キー情報に追加
	Xkapt (元素重量)	
	D (元素重量)	
	Ykapt (元素重量)	
	Xkapt (核分裂性物質重量)	
	D (核分裂性物質重量)	
	Ykapt (核分裂性物質重量)	

また、削除する項目はストラータ分け画面の検索項目となっているので、削除に伴い別の検索項目へ変更する。

検索条件を指定して下さい

ストラータ指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	検索 クリア
データタイプ指定	<input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> O	
元素コード指定	<input type="checkbox"/> P <input type="checkbox"/> H <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> D	

↓

重量系統誤差番号	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>
分析系統誤差番号	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>

#### 4-10 ラベル名の見直し

以下の3画面において、検索項目のラベル名から「指定」の文字を削除する。

例) 修正前：ストラータ指定  
修正後：ストラータ

- ・ G) MUF 中間ファイル管理画面-Dストラータ分け

検索条件を指定して下さい

ストラータ指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	検索 クリア
データタイプ指定	<input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> O	
元素コード指定	<input type="checkbox"/> P <input type="checkbox"/> H <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> D	

- ・ G) MUF 中間ファイル管理画面-データ編集

検索条件を指定して下さい

日付範囲指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	データタイプ指定	<input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> O	検索 クリア
バッチ名範囲指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	元素コード指定	<input type="checkbox"/> P <input type="checkbox"/> H <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> D	
元素重量範囲指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	核分裂性物質重量範囲指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	
ストラータ名指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	アイテム数指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	
KMP指定	<input type="text"/> ※カンマ区切り	MDC指定	<input type="text"/>	
MOXフラッグ指定	<input type="text"/>	濃縮区分指定	<input type="text"/>	
自律変動指定	<input type="text"/>			

- ・ H) SRD 中間ファイル管理画面-データ編集

検索条件を指定して下さい

日付範囲指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	データタイプ指定	<input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> I <input type="checkbox"/> O	検索 クリア
バッチ名範囲指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	元素コード指定	<input type="checkbox"/> P <input type="checkbox"/> H <input type="checkbox"/> E <input type="checkbox"/> N <input type="checkbox"/> D	
元素重量範囲指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	核分裂性物質重量範囲指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	
ストラータ名指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	アイテム数指定	<input type="text"/> ~ <input type="text"/>	
KMP指定	<input type="text"/> ※カンマ区切り	MDC指定	<input type="text"/>	
MOXフラッグ指定	<input type="text"/>	濃縮区分指定	<input type="text"/>	
自律変動指定	<input type="text"/>			

以上